



精度向上の取組についてのコメント

林田 元就

電力中央研究所 社会経済研究所

2017 年 2 月 23 日
統計委員会 横断的課題検討部会

精度向上の取組へのコメント

- ▶ 標本誤差や非標本誤差の情報開示に関するチェックを統一的・定期的を実施することは、**精度向上へのインセンティブを高め、品質を一定以上に維持することに資するものと評価できる。**
- ▶ 基幹統計の中には国民経済計算や産業連関表などの加工統計が含まれている。加工統計の精度向上は推計の基礎となる一次統計の整備や一次統計自体の精度向上に依存しており、**加工統計の精度向上を促すという観点では別の検査項目が必要ではないだろうか。**
- ▶ 統計の公表形式（ウェブでの統計表の置き方、統計表の表章の形式）の統一化は統計ユーザーにとって有り難い。これは、政府統計の窓口で統計を一本化するという総務省統計局の取り組みにより対応しているものと思われるが、各省庁統計ページへのリンク一覧にとどまっているように感じる。**省庁間の公表形式の統一化を促すような検査項目を追加できないだろうか。** 閲覧の容易さがユーザーを増加させ、精度向上のインセンティブになり得ると考えられる。
- ▶ スコアリングに重み付けを行うなどの検討はされたのか？

その他の統計改善への要望

- ▶ エネルギー関連の統計である電力調査統計（資源エネルギー庁）では、**自由化により詳細なデータが開示されなくなったり、開示のタイミングが遅くなったり**する不便が生じている。今後は、政府統計である総合エネルギー統計や都道府県別エネルギー消費統計などにより把握していくことになるが、公表の周期が年次であったり、公表までタイムラグが大きかったり、直近の動向を分析する際に使い勝手が悪い。こうした状況への対処についても考慮いただけると有り難い。
- ▶ 都道府県別エネルギー統計（資源エネルギー庁）について、大塚 (2015) は経済分析には産業分類が荒い点を欠点としてあげている。**最終消費における産業分類の詳細化や、標準産業分類との整合性を高めることはできないか。**
- ▶ 田邊・楨本・今村・成田・松嶋 (2012) や 林田・人見 (2007) では、地域経済（景気）の動向を分析する場合、**民間設備投資や移出入など支出面を把握するための地域の一次統計が不足**していることを指摘している。地域統計の整備を引き続き進めて頂きたい。

その他の統計改善への要望

- ▶ 精度向上の取組へのコメントで述べた公表形式の統一化に関する施策について、**統計の公表については総務省統計局が引き受けるという方法**もあるのではないだろうか。例えば、政府統計の窓口などを充実化させるなどにより対応することが望ましいのではないだろうか。また、その方が統一化のコストをより小さくできることもあるのではないだろうか。
- ▶ 参考文献
 - 大塚章弘 (2015) 「都道府県別エネルギー消費統計」を活用した地域別産業用・業務用電力需要の分析」, 研究報告 Y14012, 電力中央研究所.
 - 田邊靖夫・楨本英之・今村慎一郎・成田浩之・松嶋慶祐 (2012) 「地域別支出総合指数 (RDEI) の試算について」, 経済財政分析ディスカッション・ペーパー DP/12-3, 内閣府経済社会総合研究所.
 - 林田元就・人見和美 (2007) 「電力供給地域別景気指数の開発」, 研究報告 Y07003, 電力中央研究所.